

日米連

全米販へ業務委託要請

職員減員、事務所移転へ

「将来に亘り、組織を堅持」理事

日米連(長谷部喜通理事長)と日米振(佐竹司津夫会長)は昨年九月以降、組織運営の改善策を検討していたが、このほど日米連組織を堅持するとの観点から、事務局(高野専務他職員五名の縮小、移転と職員)の転移採用を前提として全米販へ業務委託を要請していることを明らかにし、七月にも事務所を麹町の食糧会館へ移転するもようだ。

これは米穀小売店をめぐり厳しい状況から、後継者問題なども絡み傘下各組組合員の減少、また県組合の脱退といった動きがあることから、「正味財源等体力のあるうちに来し方行く末についての方角付けをしたい」と(長谷部理事長)として、「日米連を堅持し、合理的かつ経済的な事務所づくりに取り組む」観点から、事務所費などの経費節減、職員の減員、さらには全米販へ業務委託(事務所、職員の人員費など諸経費は日米連が負担する)を要請することになったもの。

その改善方針の内容は各組組合理事長から一任の了解を取り、正副理事長および会長会議で決定した次の四点。

①平成十八年度(五月の総会終了時)から同年度の専務理事制は休止し非常勤役員制の下で、理事長が週二〜三日一定時間出勤して事務局職員との合議執行体制をとる。

②業務内容のさらなる見直しを行い、職員は現在五名から三名に減員し見直しの対応をする。但し、アルバイト一名は当分の間採用を認める。

③本会事務所は小規模の借り上げ面積を前提として早急に移転を関係先と協議する。

④なお、減員対応後、職員三名の転機振替採用を前提とした上で、他の組織に業務委託(事務所人員費など管理経費については、当然、本会で基本的に負担)することを引き続き検討する。

解説 今回の庶架とも思える全米販への業務委託要請は、昨年三月の第三回お米マイスター全国ネットワーク会議を全国

災害支援 炊き出しパネル展

金芽米、栄養価高く最適 トーヨー「ライスプラザ銀座」

このパネル展は、一昨(東京)年十月に発生した新潟県中越大地震に際し、ボランティアで長期の炊き出し活動を行ったことがきっかけで設立した特定非営利活動法人NPOキヤンパー(会員四十八名、登録者一千百名)と日本調理科学会(会員一千八百名)が共同研究した調査報告書「炊き出し活動の現状と課題」をテーマとしたパネル展を開催した。パネル展は、一昨(東京)年十月に発生した新潟県中越大地震に際し、ボランティアで長期の炊き出し活動を行ったことがきっかけで設立した特定非営利活動法人NPOキヤンパー(会員四十八名、登録者一千百名)と日本調理科学会(会員一千八百名)が共同研究した調査報告書「炊き出し活動の現状と課題」をテーマとしたパネル展を開催した。

中越地震での体験から発生直後の乾パン、冷たいおにぎりの配布から、おいしきりの配布から、少し落ちついた時期からの暖かい炊き出しが被災者の精神的ケアにも通じ



無洗米を使用しての炊き出しを紹介

すかいらーくが導入 マルマスの小型精米機

今春に小売店向け新商品 残粒米ゼロの店頭精米機

大手外食企業(すかいらーく)が導入している精米機のなかでも最も小型で高さは八十センチほどで奥行きも五十センチ程度とコンパクトな作りで、主に農家の自家産米とう精向けとして販売されてきたものだが、操作が簡単で白米の仕上がりが良く、良食味が決め手となり、すかいらーく導入が決定した。

このエアクリン450Nは、同社が製造して



すかいらーくが採用したエアクリン450N

分解、部品を構造から機能まで徹しくチェックされ、幾度もとう精テストが繰り返されたが、操作面では、前面パネルで白度が簡単に調整出来ること、機能面では、エアポンプが内蔵されており研米ロールから噴出される庄風で、米種や微粉をきれいに除去し、糠粒が密封され飛散することなく、しかも工具を必要とせずとう精部を掃除出来るという衛生面でのメンテナンスの良さが高く評価された。もちろん白米の仕上がりについては、同社のポリシーが「コメの品質だけは犠牲にしない」(平野泰孝管



今春販売される新型精米機のタッチパネル

心配がない。また、同社の特許でもある戻り米糠や微粉をきれいに除去し、ツヤの良い白米に仕上がりが、しかも低温精米でコメの食味を劣化させないなどの優れた能力があるのに加え、新商品では米穀小売店からの要望を入れ、白度の調整をスピードダイヤルに、細かい設定出来るようにして、調整パネルは十二段階まで出来るようにしてある。

同社では新商品紹介のパンフレットを作成中で完成次第案内することにしている。問い合わせは同社(Tel076-614721)まで。

22 アイテム、3764 俵出品

22 アイテム、3764 俵出品

日米連はこのほど、「米穀売りメニュー・日米連情報」第6号(検査機関名、地域等)を掲載し、第一号を登録した組合員に対し通知した。別掲のように、二十二アイテム三千七百六十四俵が出展、新米期だった前回に比べアイテム、数量とも減少したが、特産米が十アイテムなどこだわりの米が多くなっている。銘柄別では福島コンヒカリが一千六百四十四俵と最も多く、次いで福島ヒメノモチ一千俵、同チヨニシキ五百俵と福島が全体の七二%を占めている。

この情報提供サービス事業は自由取引、自助努力の時代に入り何事にも創意工夫が重要なポイントとして、卸からの仕入を最も太いパイプとするが、小規模単位で安心して取引できるものとなっている。日米連では、「スタートして一年が経過したが、それほど多くの成約はないがまあ順調にきていると思う。今回も福島を中心に東北など集まったと思う。前回同

「米穀売りメニュー・日米連情報」(第6号)

No	産地品種銘柄(地域区分)	等級	販売数量(支米60kg/俵)	販売希望価格(円)	備考(検査機関名、地域等)
1	青森・つがるロマン	1	100	12,000	民間
2	秋田・あきたこまち	1	180	14,900	民間(JA)、90俵単位・近畿産値
3	新潟・コシヒカリ	1	100	18,400	民間・上越・既存品種(BLではない)
4	福島・ヒメノモチ	1	500	14,200	民間(JA)・浜通り・90俵以上
5	福島・ヒメノモチ	2	500	13,750	民間(JA)・浜通り・90俵以上
6	宮城・春陽	2	5精米kg(支米60kg/俵)	2,286(精米5%)	民間(JA)・特産米・無洗米たん白分析証明書
7	福島・コシヒカリ	1	800	14,400	民間・中通り・90俵以上
8	福島・チヨニシキ	1	500	12,300	民間・全県内・90俵以上
9	岩手・ひとめぼれ	1	50	14,800	民間・一関市・低農薬、標かけ自然乾燥米
10	岩手・あきたこまち	2	70	15,000	民間・一関市
11	秋田・あきたこまち	1	50	15,500	民間・熊代市・減、減 秋田県認証米
12	山形・はえぬき	1	50	14,300	民間・尾花沢
13	山形・ササニシキ	1	100	14,300	民間・庄内・5割減農薬
14	山形・ササニシキ	2	100	13,700	民間
15	山形・コシヒカリ	1	100	15,300	民間
16	福島・コシヒカリ	1	100	18,000	民間・浜通り

ご相談ください

新しい コイン精米・店頭精米

042-799-5115 FAX同5119
http://www.irb.co.jp info@irb.co.jp

いちかわライスビジネス

農業飛散、洗米

JA全農ちは

全農には生産農家に対して、残留農薬基準が導入されます」として、今後の注意を呼びかけている。また、ポジティブリスト制度とは、すべての農薬に対して作物ごとに残留基準を定めて、その残留基準を超過して農薬が残留する農産物の流通を禁止する制度で五月二十九日より施行されます。

現行制度においては基準が定められていない農薬の規制はないが、ポジティブリスト制度は、

22 アイテム、3764 俵出品

「スタートして一年が経過したが、それほど多くの成約はないがまあ順調にきていると思う。今回も福島を中心に東北など集まったと思う。前回同